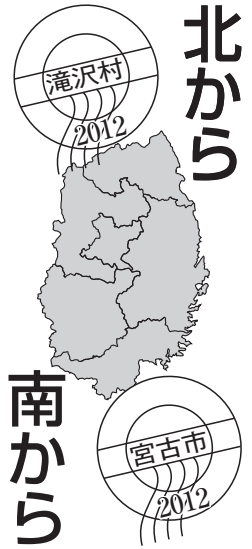


特色あるPTA



全会員で一致団結

滝沢村立姥屋敷小中学校PTA

姥屋敷小中学校は、小学生児童11名、中学生生徒14名の小中併設校で、保護者PTA会員は16世帯です。しかし、準会員として地域の約60世帯に加入していただいております。多くの地域の方のご支援を受けながら活動をしています。

岩手山を間近に振り仰ぐ雄大な自然の中、子どもたちは勉強や運動に力いっぱい頑張っています。そのがんばりを見守り、支えているのがPTAの活動です。少人数の学校ゆえ、一人一人の子どもの活躍場面が多い反面、保護者や地域の方々で盛り上げている活動が多々あります。

運動会は学区民運動会として行われ、PTA厚生部が運営の中心となって、様々な役割を担います。子どもたち



けでなく、親の出番も沢山あるのが特徴です。

文化祭もPTA教養部が中心となって、バザーや展示に関わります。なんとPTAによる演劇が出し物としてプログラムに盛り込まれているのは、他の学校にはあまり見られないことではない

でしょうか。親たちも仕事を終えて夜に何度も練習会を開くのです。

「卒業を祝う会」では親や地域の方々が集まって幼小中の卒園・卒業を祝います。そのほか夏にはキャンプや登山、冬にはスキーを親子レク

として実施しています。これらの活動の中で全会員が心一つにして子どもたちの成長のために汗を流すために集うことは大きな楽しみであり、姥屋敷小中学校PTAの誇りです。

(会長 齋藤芳也)

全ては笑顔と元気のために

宮古市立千鶏小学校PTA

宮古市立千鶏小学校は、昨年3月11日の東日本大震災津波により被災しました。校舎の復旧のめどは未だ立たず、現在は隣の重茂小学校の一部を教室にあてて学習しています。全校19名の子どもたちは約10キロの道のりをバスで登下校しています。学習環境としては十分なものとはいえませんが、子どもたちは元気に学習に励んでいます。

PTA活動も以前のような活動はなかなかできない状況にあります。以前行われていたわかめを収穫する行事は今年も実施は不可能でした。

そんな中、昨年は「親子遠足」を実施しました。遠野市と花巻市を訪れ、ぶどう狩りなどを行い好評を得ました。

今年「小岩井農場」「盛岡手作り村」への遠足を企画し、準備しています。今年にそれに加えて、以前「姉吉キャンプ場」で行っていた「親子キャンプ」を復活させようとしています。「姉吉キャンプ場」は津波により使用不可能ですので、他の施設でのキャンプを企画しています。親子が協力して料理し、キャンプファイヤーを囲む。そんな活動は、きっと子どもたちの忘れられない思い出となることでしょう。

被災した地域のPTAでは、これまでとは違った形の活動を強いられていることは共通していることでしょう。しかし、「全ては子どもたちの笑顔と元気のために」を合



言葉にPTA活動を継続することが、復興への一歩を刻むことと信じています。

(会長 前山一彦)

表紙「写真説明」

奥州市立江刺第一中学校PTAは、江刺第一中学校PTAは、共につながりあうPTAを目指して活動しています。1学期には、2学年PTA主催の校地内の草刈作業を親子で取り組みました。2学期には、PTA研修部主催のカルチャー講座を開催し、陶芸、ヨガ、ピーズ・フラワーアレンジメント、AEDの扱い方に取り組みました。また、江刺区内単位PTA対抗のスポーツ交流会では、親同士が熱いブレインと応援の中でつながりを広げることができました。